

2022年3月発行
 社会福祉法人 ありのまま舎
 (障害者自立企画)
 発行責任者 高橋 治
 編集責任者 白江 浩
 編集 佐藤 環
 〒982-8544
 仙台市太白区西多賀4丁目19-1
 TEL 022 (243) 1300
<http://www.arinomama.or.jp>
 E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

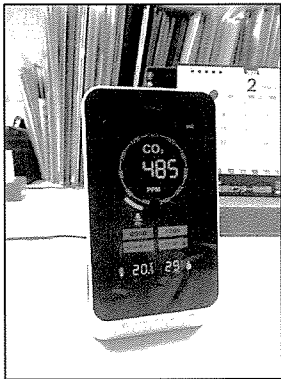
コロナウイルス急拡大への不安と対応

これまでにないスピードの速さでコロナウイルスが急拡大しています。家庭内での感染が広がりスタッフの身近でも陽性者、濃厚接触者が増えはじめ、新たな対応や判断を迫られています。濃厚接触者と判断されたスタッフがいる事業所では、万が一のことも考え全職員が抗原検査を行いました。しかし、検査キットの数に限りがあり十分な数とは言えず、今後不足する不安が大きい状況です。

コロナワクチン3回目については市町村によって接種券の送付にばらつきがあり、巡回接種を待つ太白ありのまま舎では未だ入居者の接種に至っていません。亘理ありのまま舎では個別に予約を取って接種するやり方で3月上旬からやっと進捗がありました。

新たな取り組みとして「換気」のマニユアルを作成しました。この度、企業の方から頂いたご寄付で「二酸化炭素濃度計」を購入し、各事業所に設置させていただきました。事業所、各セクションなど人が集まるエリアや入居者の居室、会議やご家族との話し合い等の時に濃度計を設置して具体的な数値を確認できるようにと思います。

クラスターの発生が増えており不安な思いもある中で、入居者やご家族の皆様には引き続き感染症対策のご協力をいただいています。スタッフもいつ感染するか分からない不安



二酸化炭素濃度計。持ち運びをして必要な場所で使用したいと思います。

を持ちながら業務を行い、その時々で最善を尽くして対応していきたいと思っています。
 (感染対応について仙台放送の取材を受け2月17日(木)、3月1日(火)夕方のニュースで放送がありました。)

薫る風

チャルドケア仙台ありのまま舎保育園で園児6名が新型コロナウイルスに感染し、保育士4名も感染した。そのため保育園は約二週間休園した。幸い重症化したお子さんも保育士もいなかった。感染した園児のひとりには太白ありのまま舎の職員のお子さんが、濃厚接触者となった職員がいた。それ以外にも小学校に通うお子さんが感染し、そこから感染したり、濃厚接触者となり、自宅待機、ホテル療養をしていた職員も二名いた。参加した会議で陽性者が出たため、法人の判断で念のため、濃厚接触者と見なして、休んでもらった職員もいる。そのため「集中検査」をほぼ職員全員に抗原検査を行い、精度に不安はありつつも全員陰性を確認した。一方で3回目のワクチン接種は、職員は個々にとにかく確実に接種できるところで接種してもらうことにしたが、決して順調ではない。まして入居者は出向けない方がほとんどで、医師が来て接種する巡回接種を待つしかないが、見通しが立たない。高齢や基礎疾患の方が重症化しやすく、第5波を超える死者も出ていて、危機感第5波以上に高まっている。更に入院が必要な状態になった時にすぐに受け入れてもらえる保障はない。日頃から様々な「障害」により特別な介助が必要だったりすると受け入れてもらえない方もいるが、そのハードルは更に高くなる。そうこうして施設内で看病と介助を行ってれば、クラスター化するのには、ある意味必然の結果だ。そんな悲惨な現場の話を聞く機会が増えている。既に元の生活に戻って相当な時間が経っている。もう、トラウマとなって蘇り仕事が出来なくなっている人も少なくないと聞く。それでも折れずに入居者に向き合い、生命を守ろうとする職員には頭が下がる。
 (白江浩)

西多賀エリア

【法人本部】

令和4年度

ありのまま生活福祉講座
ありのまま自立大賞

新型コロナウイルス感染症のため2年続けて中止となった「ありのまま生活福祉講座」と「ありのまま自立大賞」。

令和4年の日程が決まり、準備を進めています。今後のコロナウイルス流行状況を見ながら座長の彬子女王殿下、選考委員長の瑠子女王殿下にご相談しながら進めております。

今後も会報「自立」等を通じてお知らせしていきたいと思えます。よろしくお願ひ致します。

【ありのまま生活福祉講座】

令和4年6月11日(土)

13時半～16時

場所 仙台市福祉プラザ

【ありのまま自立大賞】

令和4年7月23日(土)

14時半～15時半

場所 仙台市福祉プラザ



社会福祉法人ありのまま舎

改善事項解決制度

第三者委員のご紹介

この度、社会福祉法人ありのまま舎「第三者委員」の改選があり2名の方に就任いただきました。

福祉サービスの適正な運営の確保及び苦情の解決を行う機関として各都道府県社会福祉協議会に運営適正化委員会が設置されています。サービスを利用されている入居者や利用者からの苦情をより円滑に公平に解決するシステムとして構築されたものです。

当法人は利用者(入居者)とサービス提供者(スタッフ)を分けた考えはあえてせず、この制度を良い機会として、お互いにとってより良い環境を創造してゆく上での足がかりとして「苦情」を「改善事項」と捉え「改善事項解決制度」として実施しています。

利用者(入居者)と、ご家族から改善の必要がある事柄について具体的に指摘いただき、共に考え、相互努力により解決し、今後に向けて改善していくものです。その中でより公平、公正さを担保するため、「第三者委員」を設け、広い視野と視点に立つて助言をいただき、いつで

も相談できる外部の方として役割を担っていただいています。

改善したい事柄について利用者(入居者)、ご家族から申し出を受けた担当者は詳しくご本人からお話を聞き、記録を作成し、解決責任者(ありのまま舎窓口)及び第三者委員に報告をします。または内部の方に言いづらいことがあれば、直接第三者委員に申し出いただき、いつでも連絡ができる様、連絡先を掲示させていただいています。より良い環境を共に考え、相互努力によって改善していく取り組みとして重要な役割を担っています。

この度、新たに2名の方に就任いただきました。今後ともご指導をよろしくお願ひいたします。

【再任】

郡山昌明(ごおりやまさあき)氏

・仙台白百合女子大学人間学部心理福祉学科 准教授

・特定非営利活動法人雲母倶楽部 理事

・社会福祉法人ゆうゆう舎 理事

・阿部紀子(あべのりこ)氏

・大谷地親和会副会長

・大谷地親和会福祉委員

・ありのまま舎評議員

【新任】

阿部紀子(あべのりこ)氏

・大谷地親和会副会長

・大谷地親和会福祉委員

【自立ホーム仙台ありのまま舎リビングセンター】

今年は仙台の平地でも雪の日が多く、朝にスタッフが雪かきをする事が多くありました。入居者の方が窓から顔を出され、「朝からご苦労様。」「車で出勤が大変だったでしょう。」と声をかけて下さいます。

雪の日は入居者の方にとっても心配な天気です。通院を控えている方はタクシーが時間通り来ないか、車椅子だと傘がさせないかで車椅子用の合羽を持っておられます。またご家族が来られる予定の日は、「運転大丈夫かな。事故などあわないように。」と心配されている方もおられます。

特に雪の日の移動は身体の不自由な方にとっては転倒の危険があったり、車椅子や杖での移動がさらに困難になったり、天候によって外出が大きく左右されます。

天候は変えられない現象ですが、そのことを私たちが理解し、気持ちに寄り添いながら、必要な備えを一緒に考え、サポートしてきたいと思えます。

(佐藤環)

【サポートケア仙台ありのまま舎(難病・障害者相談支援センター)】

計画相談利用者で同じグループホームに入居されているお二人の方がおります。昨年同じ時期に入居されて、それぞれ新たな生活に向き合っており、お二人とも就労系の日中活動を新たに始めました。住む場所も日中活動場所も一緒に、無理のない日中活動のペースを保つことを確認していただき、利用回数と曜日にも一緒といった偶然が重なり、自然に交流の機会が生まれ、会話の機会も多くなってきた様子です。お二人とも意欲的に日々の暮らしに向き合っており、過ごされていることをうれしく思います。生活の場、就労等の活動の場活用については、様々な選択肢があると思います。例えば福祉サービスの住まいだけでなく、民間アパートを借りて必要な部分をヘルパーさんにお手伝いいただきながら安心して暮らすことも大きな選択肢だと思えます。就労活動についても福祉的就労の場だけでなく一般就労(障害者雇用枠)の場など大きな選択肢となると思いますが、その方にとっての生活の形が選択でき、その人らしい生活の実践に繋がっていることが大事だと思いますし、継続して応援していきたいと思えます。

(齋藤栄樹)

茂庭台エリア

【難病ホスピスケア太白ありのまま舎】
【栄養マネジメント】

太白ありのまま舎では、月に一度「デザートバイキング」を行っています。2月は、チョコレートフォンデュやフォンダンショコラなどバレンタインをテーマにした献立や会場の装飾をさせて頂きました。

チョコレートフォンデュは入居者の方にご自分でチョコレートをつけていただき、デザートバイキングを楽しんで頂く事が出来ました。「美味しかった」と伝えて下さったり、笑顔で食事を召し上がられている様子を見る事ができる度に、私自身とても励みになります。

施設には、食事を上手く食べる事が出来ない方、食事制限がある方など様々な方が、おられます。そのような方々に、少しでも「食事が、楽しみの一つ」だと思ってもらえるような、また安全に食事を召し上がって頂ける食事提供を行いたいと思っています。コロナ禍で、行事などの制限はかかってしまっています



バレンタインの飾りつけでデザートバイキングを楽しみました。

が、入居者の方の気分転換になるような企画を行えたら良いなと考えております。(阿部里菜)

◆

【チャイルドケア
仙台ありのまま舎保育園】

まだまだ寒いですが、日中、お陽さまが出ている時はなんだかポカポカしてきたように感じますね。

毎朝、朝の会をする際に天候を子どもたちに聞きます。初めは天気がなんのことかわからない子どもたちも、「晴れ」「雨」「雪」と確認し、天候を覚えていきます。天候によつて戸外で遊ぶことができることも学んできます。

大人がお散歩に行かないと決めていても、子どもたちにはお話をしないと何故か伝わりません。またお話がないと何故だろうと子どもが自ら考えることを遮ってしまいます。そのため、窓を開け、今日は寒いから、今日は雨が降っているからとお部屋の中からも活動を始める際に天候も関係することを体験し、自ら考えることを止めないように伝えていきます。

状況が目まぐるしく変化する現代、自ら考え動く力を問われます。大人になって身につくことではないので、子どもたちが何かを感じている際には、沢山お話をしてくれるヒントを伝えてあげてくださいね。(春日麻里)

【サポートケア名取ありのまま舎
（難病・障害者相談支援センター）】

今回の、「相談支援事業所ではこんなこともやっています！」では、研修での役割についてです。

今年度、障害者相談支援従事者現任研修を受講いたしました。今回の研修では、受講生フアシリテーターという役割を仰せつかりました。研修では、事例検討の演習を行います。その演習でのフアシリテーションを行います。フアシリテーションとは、そのグループの話しの流れを整理したりしながら、協働を促進させる役割になります。その技術は、普段の業務の中でも必要になる技術であり、演習を受講することで、事例検討の技術も学びますが、フアシリテーションの技術も併せて学ばせていただきました。現任者研修に参加される方々なので、実務の経験をお持ちのベテラン職員が多い中、そのグループの流れを整理することはとてもいい経験となりました。

以前、初任者研修のグループフアシリテーターを務めたことはありますが、現任者の研修は一味違って、とても難しいものがありました。研修を振り返り、実際の業務の中でも学んだ経験を活かしていけるよう励みたいと感じています。(佐々木晃)

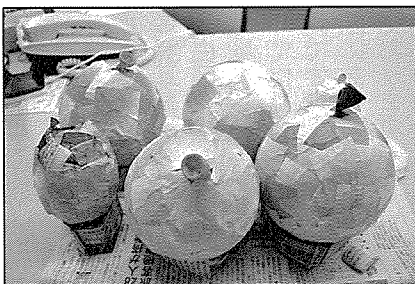
泉南エリア

【難病ホスピスケア亘理ありのまま舎】
【アクティビティケア（日中活動）】

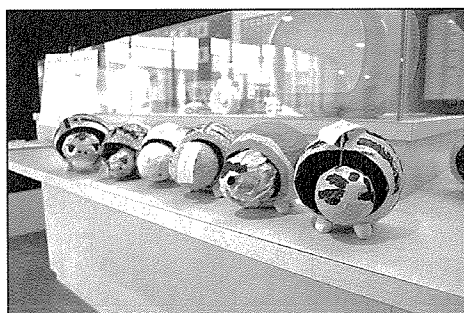
アクトでは、その季節毎の事柄を取り入れて活動を行っています。今年に入ってからには干支の寅にちなんで、入居者・利用者で寅の張り子づくりを行いました。

膨らました風船に新聞紙等を工作のりで張り付けていき、形を作っていきます。しっかりとした形にするには紙を繰り返し張るので時間がかかりました。

体は大きめの風船・頭は小さな風船を膨らまして作っていきます。体と頭の2つが出来たら、思い思いの色紙を張り付けていきます。寅といえば黄色ですが、作った方の思いで、ピンク色の寅や、ねずみなど様々な張り子になります。何と



風船に色紙を貼り付け頭と胴体をつくります。



筆で表情を描き、胴体と頭をバランスよく取り付けました。表情豊かな素敵な張り子ができました。

も筆で目や鼻などの表情を書いていくのが一番緊張するところ。お一人お一人の個性の出るところです。

そして体に、頭を取り付けるバランスも難しいです。うまく取り付けないと張り子の首がうまく振れないので、試行錯誤しながら取り付けを行います。

時間をかけて出来上がった張り子たちを見ながら、今年も元気に活動を続けていきたいと思います。(金子仁)

【サポートケア亘理ありのまま舎 基幹相談支援センター】

亘理町障害者等地域自立支援協議会では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で2〜3月に開催予定だった部会は、全て書面開催となりました。

様々な研修や会議等が対面で開催することが難しい状況の中、昨年12月に対面で開催することができた第2回精神障害部会には、とても意味深いものだったと感じています。

第2回精神障害部会は、亘理町で以前から課題となっていた「医療と福祉の連携」をテーマに、3つの精神科病院のケースワーカーさんをお迎えして開催しました。参加者も部会委員だけでなく、相談支援事業所や障害福祉サービス事業所も対象としました。

各ケースワーカーさんからはケースワーカーの役割、病院での取り組み、地域の支援者へのメッセージを伝えて頂きました。また、グループワークでは、質疑応答や情報交換を通して、顔の見える関係づくりを図ることができました。

精神障害部会では、今後も「医療との連携」を進めることで、精神障害のある方も安心して暮らせる地域づくりに貢献していきたいと考えています。

(川島綾)

【サポートケア県南ありのまま舎 (難病・障害者相談支援センター)】

県南ありのまま舎は亘理町・岩沼市の委託相談支援事業所となっております。今回は岩沼市委託相談支援事業所で参加している岩沼市障害児者地域自立支援協議会を取り組んでいることを紹介をしたいと思います。

岩沼市障害児者地域自立支援協議会には全体会、生活支援部会、子ども支援部会、各部会の運営会で構成されています。生活支援部会では、委託相談支援事業所として日々の支援で感じた、地域課題を解決するためにはどうしたら良いかの話し合いを経て活動として動いています。

活動のひとつにネットワーク会議があります。今年度は地域の身近な相談相手「民生委員・児童委員」の会議に参加させて頂き、「障害について」と「相談支援事業所の役割」の研修会を行いました。民生委員・児童委員は地域の窓口として、今後地域で相談支援を行う上で繋がりが重要になってきます。今後も更にネットワークを強固なものにできるように精進していきたいと思います。

(清野麻紀)



「ご支援頂きありがとうございます ございました(敬称略)」

【書き損じはがき等】
22 1/23〜2/22

(鈴木一彦)

【バザー提供】

22 1/21〜2/24

(川尻誠)

「ご支援頂きありがとうございます ございました(敬称略)」

22 1/23〜2/21

スーパービッグ六丁の目店

(若林区) 32, 248円

地下鉄沿線で近年発展されて

いる地域にて長年に亘り営業されているお店です。今回も入りきれないほどに詰まったボトルカンパをお寄せ頂きました。

西多賀耳鼻咽喉科クリニック

(太白区) 9, 862円

地域の皆様にとりまして、なくてはならない耳鼻咽喉科医院です。自立ホームと同じ地区にあり、大変頼もしく感じています。

生鮮倶楽部フレッシュマーケット太陽(株) 東仙台店

(宮城野区) 10, 944円

お店の外にも商品がたくさん並んでいる大変活気あふれるお店です。長きにわたってボトルを設置頂き、本当に有り難うございます。

(鈴木一彦)

ありがとうございます。

【バザー品集めています】

◆未使用雑貨

◆未使用タオル

◆食品類

その他のお品物については、お気軽にご連絡下さい。

022(243) 1300



【バザー開催日のご案内】

《2022年4月》

5日(火)ヨーク・ハマル山田鉤取店

(太白区)

7日(木)ヨーク・ハマル大和町店

(若林区)

12日(火)ヨーク・ハマル南宮店

(青葉区)

14日(木)鶴ヶ谷年鮮いちば

(宮城野区)

19日(火)ヤマザワ茂庭店

(太白区)

23日(土)ショップセル

(仙台ありのまま舎)

26日(火)袋原(向日葵)フイフ

サポートセンター・太白区

28日(木)鶴ヶ谷年鮮いちば

(宮城野区)



ホームページにはバザー会の情報やご協力いただきたい品物を掲載しています。ぜひご覧ください！

ありのまま舎後援会 (敬称略)

22 1/752/20

【2022年度賛助会費】

以上二口

ありがとうございました。

(事務局 佐藤環)

【自販機販売設置支援】

◆サントリービバレッジ

1月分の売上の一部を寄付
頂きました。

こくみん共済coop

宮城推進本部 1,039円

ありのまま舎 (自立ホーム・

太白ありのまま舎・サポートケ

ア県南・亘理ありのまま舎

15,662円

【後援会員を

募集しています】

ありのまま舎活動を支えてくださ
る後援会員を募っています。

◆年間会費

・個人会員 10,000円

・法人会員 20,000円

・賛助会員 3,000円

途中退会も可能です。

【お申し込み】

会報「自立」に同封の郵便振替用紙
に「後援会」と記入ください。お
気軽にお問い合わせいただければ
幸いです。

(担当 佐藤)

「協力ありがとうございました (敬称略)」

【本部】

◆会報発送のための帯封の糊付
けを、仙台西高等学校JRC有
志・東北学院榴ヶ岡高等学校有
志・個人の皆様にお手伝いいた
だきました。学校においては感
染対策も難しい中、工夫してく
ださり感謝です。

◆会報の折り込みは、新型コロナ
ウイルス感染症予防対策をと
りながら、販売や片付けなど
お手伝いをいただいています。

また、毎月一回のシヨップセー
ルの会場でも準備や片付けなど
のお手伝いをいただきました。

【太白ありのまま舎】

◆茂庭台ボランティアグループ
の皆様による「気ままに書く会
(書道) ◆宮城県車いすダンス
協会様による「車いすダンス」

◆仙台シルバーネットの皆様に
よる「読書会」などかわりを
持つていただいていた活動は現
在お休みしております。

現在は、感染症予防のために
館内への入館者や時間に限りが
あるためです。感染状況が落ち
着き、皆様とまた大声で笑える
時が持てることを心待ちにして
います。

(中村悦子)

「ありのまま舎運営協力寄付金」
【21 12 / 30 ~ 12 / 31】
(敬称略)

業 務 内 容

社会保険や労働保険手続・助成金申請代理・会社設立・各種許認可申請・労働や経営相談 他

お気軽にご相談ください。

社会保険労務士・行政書士 須田事務所

〒981-0916 仙台市青葉区青葉町 16-1・2 階 TEL : 022-344-8620 FAX : 022-344-8621